学校番号	T3003

平成３１年度　建築施工（生活デザイン系列）

教科	工業	科目	建築施工	単位数	2	年次	3
使用教科書	「建築施工」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築施工は、単に建築生産についての技術や、建築施工管理・施工監理における職業的技能を身に付けるだけではなく、安全衛生・技術者としての倫理観、環境及びエネルギーへの配慮について総合的に理解し、産業界を支える人材となることが目標です。授業の中では、建築生産だけでなく、実習、建築構造、建築計画などの専門に関する座学や、理科、数学などの普通教科で学んだことを活用し、学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2 学習の到達目標

建築施工における各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における建築生産の意義や役割を理解させるとともに、環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築施工に対しての関心と課題意識を高める。建築に関する課題に対して主体的に取り組み、実践的な態度を身に付ける。建築施工技術の知識を意欲的に追求し技術者としての責務を果たそうとする。	建築施工に関する工法・技術・建設組織のあり方についてよりよい方法を見出すことを考える。建設工事の諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断する能力を身に付けている。	建築施工に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、工事を合理的に計画し、その技術を適切に活用する態度を身に付ける。	建築施工に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 定期考査 プリント提出	学習状況の観察 定期考査 プリント提出	学習状況の観察 定期考査 プリント提出	学習状況の観察 定期考査 プリント提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
(前期) 4・5月	建築施工のあらまし・工事の準備	・建築生産者および建築施工の流れの概要について ・施工にとりかかるまえの準備として、敷地調査や仮設工事の基本を学ぶ	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 建築施工にたずさわる人々の役割や実際の仕事内容、一般的な工事の流れの概要を学ぶ。建築施工の流れや敷地調査、仮設工事の工法に関心を持ち意欲的に取り組んでいる。 b: 建築施工にたずさわる人々の役割や実際の仕事内容、工事の流れの概要について問題点を見い出し、その解決に向け考察する能力が身に付いている。 c: 建築施工について、実習などと関連づけて基本的な技術を身に付けるとともに、工事を合理的に計画することができている。 d: 建築現場において施工に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における建築生産の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査
		前期中間考査	○	○		○		定期考査
(前期) 6・7月	地面から下の工事・木構造の工事	・土工事 ・杭工事 ・地業工事 ・木構造の工事	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 土工事・杭工事・地業工事・木構造の仕事内容、工事の流れの概要を学ぶ。各種の工法に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b: 土工事や木構造などの実際の仕事内容、工事の流れの概要について問題点を見い出し、その解決に向け考察する能力が身に付いている。 c: 土工事・木構造などの施工について、実習などと関連づけて基本的な技術を身に付けるとともに、工事を合理的に計画することができている。 d: 土工事・木構造などの建築現場における基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における建築生産の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査
		前期中間考査	○	○		○		定期考査

(前期)9・10月	鉄筋コンクリート構造の工事	・鉄筋コンクリート構造の工事	○	○	○	○	a：鉄筋コンクリート構造の仕事内容、工事の流れの概要を学ぶ。各種の工法に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b：鉄筋コンクリート構造の実際の仕事内容、工事の流れの概要について問題点を見い出し、その解決に向け考察する能力が身に付いている。 c：鉄筋コンクリート構造の施工について、実習などと関連づけて基本的な技術を身に付けるとともに、工事を合理的に計画することができている。 d：鉄筋コンクリート構造の建築現場における基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における建築生産の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査
		前期期末考査	○	○		○		定期考査
(後期)11月・12月	鋼構造の工事	・鋼構造の工事	○	○	○	○	a：鋼構造の仕事内容、工事の流れの概要を学ぶ。各種の工法に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b：鋼構造の実際の仕事内容、工事の流れの概要について問題点を見い出し、その解決に向け考察する能力が身に付いている。 c：鋼構造の施工について、実習などと関連づけて基本的な技術を身に付けるとともに、工事を合理的に計画することができている。 d：鋼構造の建築現場における基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における建築生産の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査
		後期中間考査	○	○		○		定期考査

(後期)1・2・3月	建築物の保全・解体工事と環境保全・建築の業務・建築工事費の算出	・解体工事と環境保全 ・建築の業務 ・建築工事の算出	○	○	○	○	a: 各章で学ぶ項目に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b: 各章で学ぶ項目の内容について問題点を見い出し、その解決に向け考察する能力が身に付いている。 c: 解体工事や建築積算について、実習などと関連づけて基本的な技術を身に付けるとともに、建築工事を合理的に計画することができている。 d: 各章で学ぶ項目についての基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における建築生産の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査
		学年末考査	○	○		○		定期考査

表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。